

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道107号 <small>ほんじょうどうろ</small> 本荘道路		事業区分	一般国道	事業主体	秋田県
起終点	自：秋田県由利本荘市松街道 至：秋田県由利本荘市鶴沼			延長	2.0km	
事業概要	一般国道107号は、岩手県大船渡市を起点とし、秋田県由利本荘市に至る延長194kmの幹線道路であり、日本海側と太平洋側を結ぶ産業、経済の交流に重要な役割を果たしている路線である。本荘道路は、日本海沿岸東北自動車道へのアクセス強化と慢性的な交通混雑の解消を目的とした延長2.0kmの4車線拡幅事業（W=6.0(14.0)m→13.0(25.0)m）である。					
H11年度事業化	H2年度都市計画決定 (H 年度変更)		H14年度用地着手		H 年度工事着手	
全体事業費	110億円	事業進捗率	41%	供用済延長	0km	
計画交通量	15,100～26,200台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.8 (残事業) 3.6	総費用 (残事業/事業全体) 51億円/102億円 （事業費：101/101億円） 維持管理費：1.9/1.9億円	総便益 (残事業/事業全体) 181億円/181億円 （走行時間短縮便益：170/170億円） 走行費用減少便益：10/10億円 交通事故減少便益：0.89/0.89億円	基準年 平成20年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・物流の効率化と日本海沿岸東北自動車道へのアクセス強化（本荘IC・大内JCT） ・中心市街地の活性化と安全な生活環境の確保（混雑度1.89、事故率220件/億台km） ・道路の防災対策、危機管理の充実（第2次緊急輸送道路） <p style="text-align: right;">他8項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・国道107号整備促進期成同盟会（会長 由利本荘市長）による早期完成要望（最新H20.5.16） ・本荘由利交通体系整備期成促進協議会（会長 由利本荘市長）による早期整備要望（H19.11.12） ・由利本荘市による早期整備要望（最新H20.6.30） 					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年3月22日に本荘市外7町が合併し、由利本荘市となった。 ・平成19年9月17日に日本海沿岸東北自動車道の仁賀保IC～岩城IC間の供用が開始された。 					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗状況：全体41%の進捗、調査、用地補償 ・残事業：用地補償、工事 					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<ul style="list-style-type: none"> ・既成市街地内での拡幅事業であり、用地の取得に時間を要した。 ・混雑度の高い御門交差点～一番堰交差点(R105号)までの約1km区間を早期に供用し、事業効果の早期発現を図る。 					
施設の構造や工法の変更等	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・当初からの事業の必要性、重要性に変化はなく、事業を継続し促進する。 					
事業概要図	<p>The figure consists of two maps. The left map shows the location of the project within the prefecture of Akita, highlighting the area around the city of Yuribayashi. The right map is a detailed view of the road expansion area, showing the intersection of National Route 107 and other roads, with landmarks like the Yuribayashi Station and various commercial buildings. It also indicates the planned road width (W=25.0m) and length (L=2.0km), and shows the current traffic volume (T08:11,289台/日).</p>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。